

2021.6.24(火)14:30-
角田市役所301会議室

角田市長期総合計画審議会

重点プロジェクトに係るグループ討議

事前説明

東北学院大学教養学部地域構想学科
柳井 雅也
yanai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

今日の議論の手引き

1. 【市民力】人材探索・人材発掘・人材育成への積極支援

- × 市役所の計画を確認・監視するだけ 例: 有識者会議
- 市民共働で「人材育成の仕組み」を作る * 機会と活動費
- 例: 災害発災時に知恵と実践力のある人を平時から応援

2. 【ゴール】理想もしくは現実のゴール(ずっと住み続けたい)を示そう

- そのために数値(「見える化」)を設定
- ゴールの置き方: 私の為→より→今の為→より→未来の孫子のため

3. 【合わせ技】(横串)の考案(一石二鳥、三鳥・・・) * 部分最適より全体最適

- 普段思っていることをまとめて解決できないか?
- 歳出の節約につながる

4. 【気づき】見落としているコト

- 計画で「そもそも抜けてしまっている」市民や計画やコトを指摘
- 再定義が必要なこと 例: 町内会活動、進出企業の活躍機会の創出・・・

理想の未来から語る、**今**

理想の高さとその傾向

- 施策の作り方
- - - 施策の実施
- 突然の環境変化

目指すべき理想

バックキャストイング

みなさんの立ち位置
(この中間)

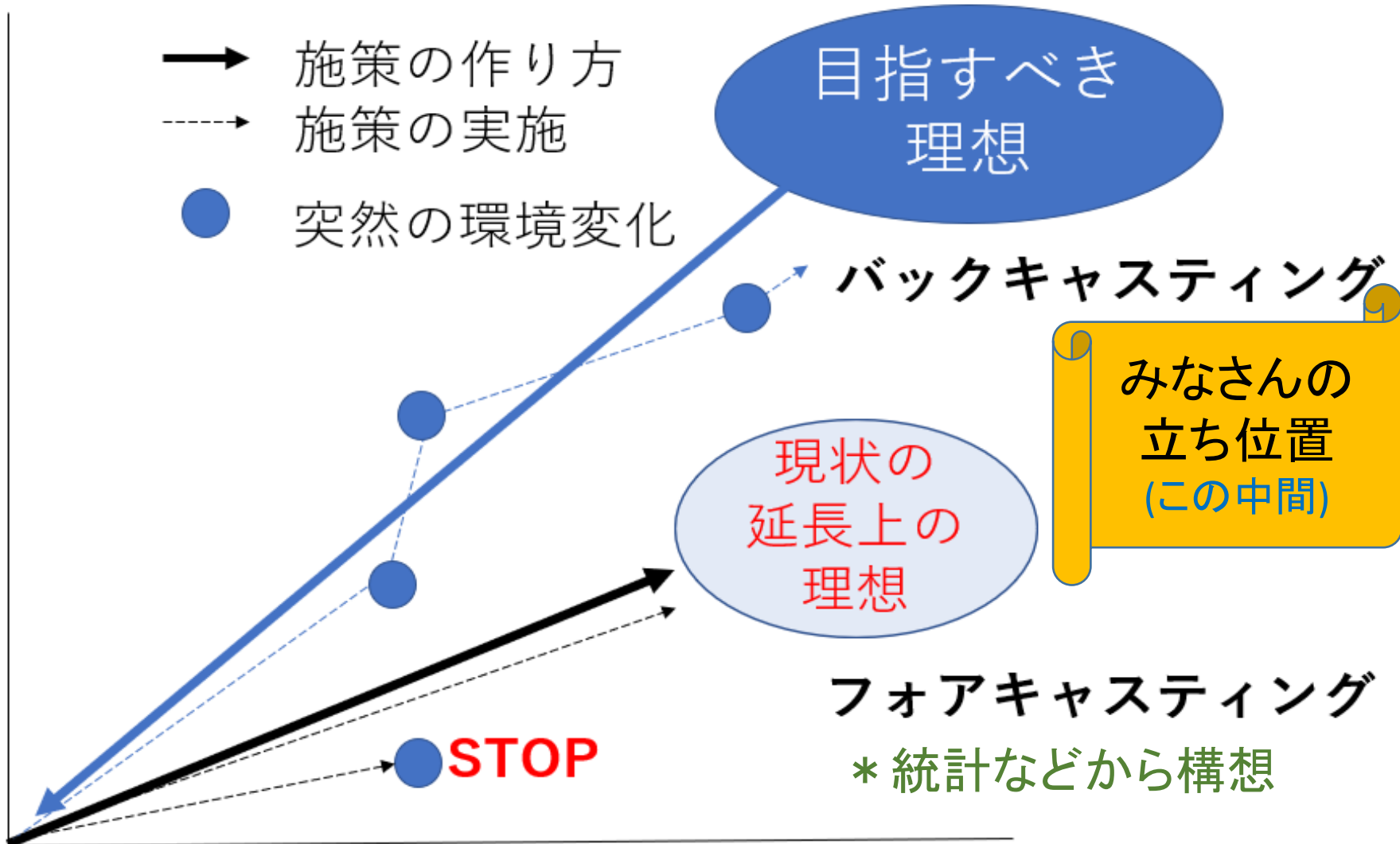
現状の延長上の理想

フォアキャストイング

* 統計などから構想

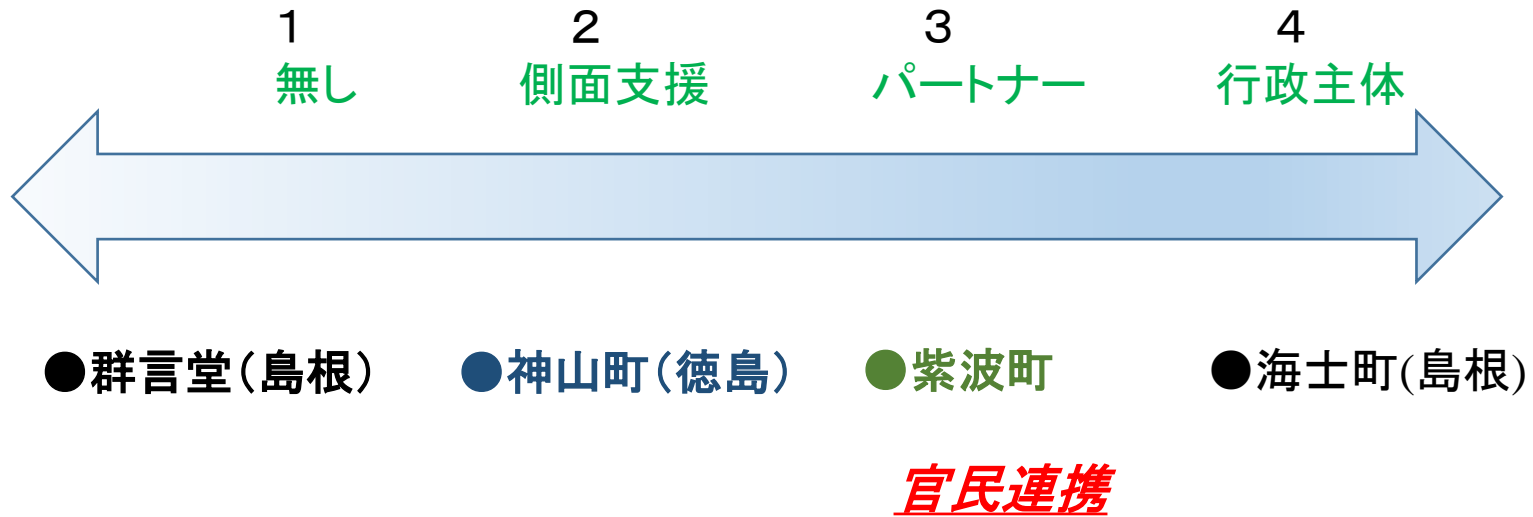
STOP

時間



市民力に基づく官民連携

レベル(行政との関わり)



官民連携 レベル1

人口403人 194世帯

小学校児童数11人 高齢化率（65歳以上）42.18%

2018年7月1日現在

キーワード

- 根のある暮らし
 - ・・都会には「花がある」、田舎には「根」がある
- 復古創新
 - ・・そのまま使うのではなく創造的に活かす

松葉登美氏の地域づくり

群言堂（島根県石見銀山）

神山町の考え方 * 官民連携

- 神山町が直面している過疎化、少子化、経済の衰退といった課題（課題のツボを発見）神山町は絶対的に子供の数が少ない。

① 2035年の推計人口を試算：3065人

② 小学校1クラスの数：現状の28.9人から12.5人まで減少

【戦略と戦術】1クラス20人（統廃合の基準）を維持しようと思えば

親2人子2人の家族（若者夫婦や起業家）を毎年5世帯受け入れる必要

（理由）住む場所と働く場所を作り出さなければならない。

* ここまでは市民が考えた

③ 【官民連携】移住交流支援センターの運営方針

○町が選ぶ × 来る人は誰でもウエルカム

「定住希望者や若年者、起業家などへの案内を優先させる」

「オガールプラザ」

紫波町の情報交流館(図書館+地域交流センター)、子育て支援センター、民営の産直販売所、カフェ、居酒屋、医院、学習塾などで構成される官民複合施設

年間80万人集客 105人の雇用を生む

①手つかずの土地

②東洋大学と協定

③藤原前町長の決断で官民連携
プロジェクト(公民連携基本条例制定)

④公民連携室設置(スピード)

⑤民間の事業・仕組に乗る(活用者の意見を吸い上げる)

⑥住民とワークショップ

➡【合わせ技】設計に反映